

唐池公園のリニューアルについて

(1) 事業の経緯

近年、老朽化する公園施設の改修や魅力的な公園施設の整備が課題となっていました。

令和元年度には、市内の小学1年生から3年生や幼稚園・保育所の保護者などを対象に、よく利用する公園などについてアンケートを実施するなど、限られた財源の中で、より効果的に投資を進めるにはどうすべきかの検討を行い、令和2年度に、用途別分類の検証結果などをもとに今後整備を行う公園などを示した「箕面市公園施設長寿命化計画」を策定しました。(別紙1参照)

(2) 整備対象公園の選定(別紙1のP. 2参照)

アンケート結果と施設特性などを勘案し、整備対象公園を次のポイントにより選定しました。

1. アンケート結果から、利用者の多い公園
2. 利用者数は少ないが、街区公園のうち、幼稚園や保育園の周辺で幼児向けの公園がない空白エリアにある公園
3. 利用者数は少ないが、街区公園のうち、「遊具エリア」と「広場エリア」が確保できる公園

次に、整備対象公園の施設の特性ごとに用途を「幼児」「小中学生」「多世代」に分類し、整備を行う55公園を決定しました。

利用者数	用途別分類			施設特性	公園数
	(i) 幼児	(ii) 小中学生	(iii) 多世代		
多	○	○	○	近隣公園	① 面積と豊富な施設を有する 13
	○	○		街区公園 及び 開発公園	② 遊具エリアと広場エリアの確保が可能 11
	○ or ○				③ 利用者が多い公園のうち①②以外 24
少	○				④ 幼児向け空白エリア 7

(3) 整備の考えかた

活用できる財源は限られているため、整備対象公園を開設年度などから点数化し、優先順位を決定しました。

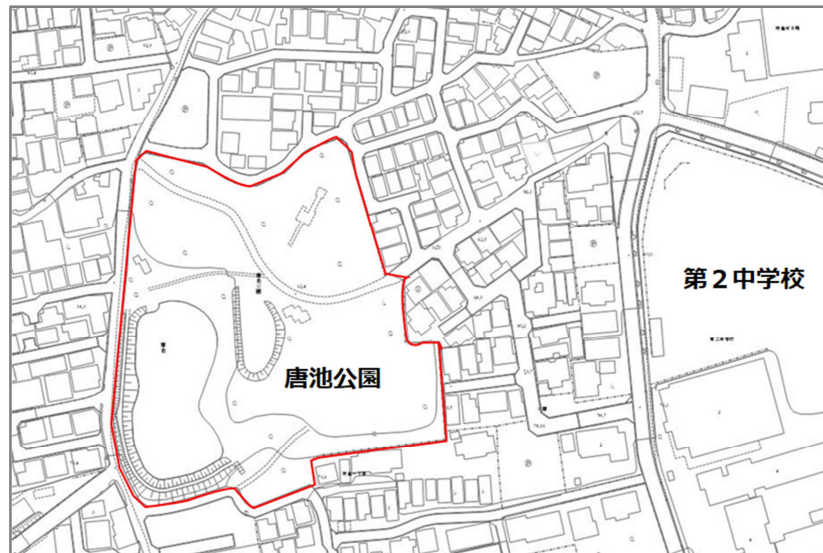
小学校区ごとに、モデルケースとなる公園を選定し、令和3年度から10年間で順次リニューアル工事を実施します。以降は、最初の10年間のリニューアル工事の状況を検証しつつ、残る公園を計画的に、全55公園をリニューアルする予定です。

また、整備は国の交付金を活用し進めるとともに、開発事業等緑化負担税を活用し、整備のスピードアップを図っていく予定です。

(4) 整備公園

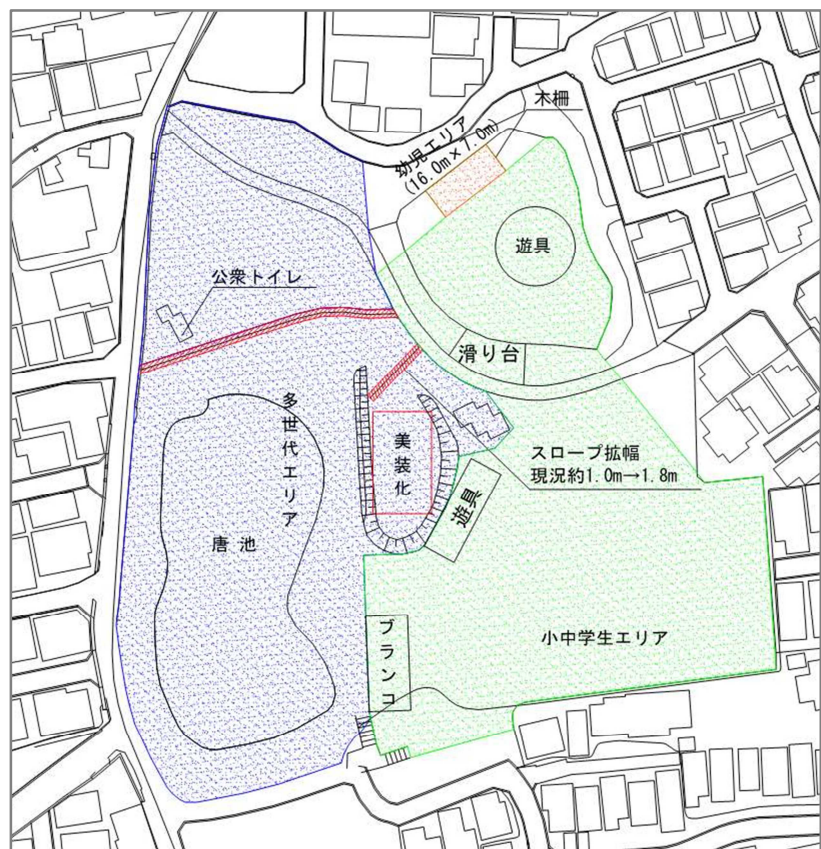
令和3年度は、「箕面市公園施設長寿命化計画」にもとづき、整備対象公園の中で、最も優先順位が高かった唐池公園を整備します。

唐池公園は、箕面市の中心部に位置（坊島1丁目13-1）しており、箕面市内13箇所ある近隣公園のひとつで、昭和51年に開設しました。公園内に唐池があり、周囲に散策路が整備され市内でも人気の高い公園で、子どもから高齢者まで幅広い世代に利用されています。



(5) 整備内容

公園内を、幼児エリア、小中学生エリア、多世代エリアにゾーニングを行い、それぞれ用途に合わせた整備を行います。また、老朽化したトイレについても、バリアフリーに配慮した改修を行う予定です。



【幼児エリア】

現在ある滑り台を撤去し、アンケート結果をもとに、人気のあった3つの遊具をパッケージとして北側に設置し、四方を柵で囲い安全性を確保したうえで、1歳～3歳の子どもたちが安全に楽しく遊んでもらえる場所に整備します。

**【小中学生エリア】**

現在設置されている木製の大型遊具は撤去し、代わりとなるシンボル遊具を新たに設置します。シンボル遊具は、近隣小学校（中小学校・萱野小学校）の児童に対し、設置したい遊具について新たにアンケートを実施のうえ決定する予定です。また、計画策定時に実施したアンケート結果にもとづき、人気のあった遊具も設置する予定です。

公園南側にある広場については、これまでと同様、子どもたちが、球技などで体を動かす広場エリアとして活用します。

**【多世代エリア】**

憩いの場として、現在公園中央にある休憩所をリニューアルします。車いすのままご利用いただけるテーブルの設置など、バリアフリーに配慮した空間を整備し、若い人からお年寄りまで幅広い世代に楽しんでもらえる憩いの場をめざします。

また、公園入口から、最短距離で憩いの場まで移動し、御利用いただけるようにトイレ横から憩いの場までゆるやかなスロープを設置し、現在1メートルほどの通路の

幅も 1.8 メートルまで拡幅する予定です。



(6) スケジュール

夏前までに着工し、令和3年度中のリニューアルオープンをめざします。